

事業番号	10 01 04	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業成長産業化推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課		
		実施期間	H30 ~	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進 4-1 県土の強靱化	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

### 1 現状と課題

目指す姿	<b>【目指す姿】</b> ・市町村による広域連携体制の構築や伊那地域のモデル事業の成果等を県内市町村に波及を図ることにより、森林経営管理制度による森林整備を推進する。 ・本県林業の生産性を高め、林業の成長産業化を図る。 ・県内、国内、海外の森林・林業・木材産業を取り巻く状況を把握し、施策を考える際の土台となる森林や里山の未来の姿を明らかにする。	
これまでの取組	<b>【これまでの取組】</b> ・森林経営管理制度等による森林整備が円滑に進むよう、市町村を支援 ・航空レーザ測量、ドローンなどを活用したモデル地域による森林調査 ・フィンランド政府関係機関との覚書に基づくセミナーの開催 など	
令和3年度の点検結果 ・ 現状分析	課題	今後の方向性
	・森林経営管理制度の本格的な運用がスタートし、市町村から意向調査対象箇所等の技術的な判断を求められる機会が多くなっている。 ・広大な森林情報を扱うため、森林GISの活用による高度な分析が必要であるが、県や市町村職員の操作熟度が低い。 ・企業等のゼロカーボン推進により、カーボンオフセットに必要な森林吸収系J-クレジットの需要が高まっている。 ・生産性向上にあたって、森林所有者毎の意向の違いや、森林の境界が不明確であることなどの理由により、経営方針が定まらないといった課題がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により林業・木材産業では、木材価格の乱高下や林業事業者の事業継続や雇用維持の危機等、多くの課題がある。	・森林環境税の課税が始まる令和6年度までに、森林経営管理制度等に基づく森林整備が全ての市町村において実施されるよう、引き続き支援 ・森林経営管理支援センター内に森林GISサポートデスクを設置し、森林情報の効率的な解析を引き続き支援 ・市町村等が管理する森林でのJ-クレジットの創出を支援 ・説明会を通じた意向のすり合わせや意向に応じたエリア分け、ドローンなどを活用したスマート林業の導入による境界明確化の取組を支援 ・ウィズコロナ、アフターコロナ時代に向けて、効果的な森林・林業施策を進めるため、中・長期的な視点を踏まえた指針が必要

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組(予定)	✓ 森林経営管理制度の円滑な導入に向けた研修会等を実施 ・市町村向け制度研修会や森林GIS等の操作研修会を開催 ・広域連携を実施する地域において、初期に必要な経費を支援 ・森林が吸収する温室効果ガス吸収量の認証手続きや販売方法等のマニュアルの作成  ✓ 収益性の高い林業のモデルの構築 ・林業成長産業化と森林の適正な管理の実施に向けて先行して取り組む地域をモデル事業で支援  ✓ ウィズコロナ・アフターコロナ時代の森林・林業、木材産業のあり方の検討 ・林業事業者・関係団体・市町村との意見交換の実施 ・フィンランド北カルヤラ県調査団の受入れ、オンラインセミナーの開催
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<b>【DX】</b> ・森林資源の解析等ドローン等の先端技術の活用や林業現場への高性能林業機械の導入により、より収益性の高い林業のモデルを構築する。 <b>【ゼロカーボン】</b> ・森林経営管理制度や市町村有林等の市町村が管理する森林が吸収する温室効果ガスの認証手続きや販売方法等を支援 ・林業・環境分野の先進国であるフィンランドとの技術交流を通して、ゼロカーボン社会の実現に必要な知見を得る

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	素材生産量	千m3	564	↑	570	↑	650	800	前年度繰越	22,330	0	要求	56,226
2									当初予算	57,798	43,488	予算案	56,226
3									補正予算	-3,000	0		
4									合計(A)	77,128	43,488	要求	56,226
5									うち一般財源	0	0	予算案	56,226
									決算額(B)	69,489		要求	0
									職員数(人)	4.0	3.0	予算案	0

設定理由	指標 1.林業成長産業化を評価するため、県内の素材生産量を目標として設定 目標 1.長野県森林づくり指針におけるR4年度の目標値
予算要求からの主な変更点	要求どおり

事業番号	10 01 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	林業成長産業化推進事業			部局	林務部	課・室	森林政策課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	森林経営管理体制支援事業	47,798 千円	36,173 千円	要求 48,236 予算案 48,236 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	森林経営管理支援センターの運営	直接	森林経営管理体制の円滑な導入に向けた市町村支援を実施 ・森林経営管理支援センターの運営 ・森林経営管理体制や森林GIS操作研修会の開催(4回)	
2	森林経営管理体制広域連携体制支援事業	補助金	広域連携を実施する地域において、初期に必要な経費を支援する ・市町村連携による研修会開催経費 【補助想定件数3地域、補助総額5,000千円】	
3	森林経営管理J-クレジット創出支援事業	委託	森林が吸収する温室効果ガス吸収量の認証手続きや販売方法等を支援 ・モデル地域でのクレジット創出 ・マニュアルの作成	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	林業成長産業化地域創出モデル事業	10,000 千円	7,000 千円	要求 7,000 予算案 7,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	林業成長産業化地域創出モデル事業	補助金	モデル地域である伊那地域において、森林経営管理体制に先行的に取組み、森林調査や管理方針の検討を実施 【補助想定件数1件、補助額7,000千円】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	森林(もり)の未来図作成事業	0 千円	315 千円	要求 990 予算案 990 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	次期「長野県森林づくり指針」の普及	委託	森林の未来図(森林づくり指針)の普及用物品の購入	
2	フィンランドとの連携	負担金	・フィンランド北カルヤラ県調査団訪問受入 ・オンラインセミナー開催経費 ・実務者会議時の資料作成経費(オンライン)	